レベッカ・M・J・トンプソン (レベッカ)

ペンテコスタル・ミッション・アンリミテッド (PMU)

リベリア・モンセラード郡 モンロビア

民族 / 部族: マノ
母語: マノ語
宗教: キリスト教
職業: 管理者、
コミュニティ・ボランティア

仕事について:

「私はチャンスがあれば、いつでもそれを生かしていきたいと思っています。」

レベッカ・M.J.・トンプソンは、80%の人々が農業を基盤として生活をする農村地域に住んでいます。コミュニティの人々は勤勉で献身的で、肥沃な土壌を貴重な資源として大切にしていますが、土地紛争や時間管理が課題となっています。レベッカは、グループを組織し、定期的な集まりを率い、地域の問題に取り組むチームリーダーを務めるなど、積極的にコミュニティと関わってきました。彼女は農民グループを動員して組織化し、人々の生活を改善する農業プロジェクトの全面的な実施を成功させ、ヴァイ族、ロールマ族、ゴラ族、バッサ族、ジオ族の各コミュニティといった、多様な宗教や民族的背景を持つ人々とも協働しています。

レベッカは、動機付け、権利や能力を高める活動、奉仕の重要性を教えてくれたジェームズ・K・ジャラー牧師の影響を受けて、アジア学院では、リーダーシップと組織力を高めたいと考えています。彼女はこれらの学びを生かし、研修や能力開発の取り組みを通して、農民たちのさらなる支援を進めていくつもりです。また、組織力や指導力を強化することで、自給自足を促進し、土地紛争を解決し、異なるコミュニティのグループ間での協働を促し、より持続可能で団結した未来の創造を目指します。

送り出し団体について:

ペンテコスタル・ミッション・アンリミテッド (PMU) の創立理念は、保健、教育、農業、権利擁護プログラムを提供し、総合的な人材サービスを構築することです。PMUは主にリベリアのロファ郡、ボン郡、モンセラード郡の人々に奉仕し、持続可能な開発プロジェクトに取り組んでいます。また、農村コミュニティでの保健サービス、農業プログラム、女性と子どものための提言活動も行っています。レベッカの帰国後は、リベリアの農村部で、団体の地区管理者として活躍してほしいと期待しています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら:

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)